

小地域ネットワーク専門講座

第1回「青少年・児童編」
第2回「成人・高齢者編」

去る10月24日と28日の2回に渡り、小地域ネットワーク専門講座を実施いたしました。

今年度は「地域の安全を考える」を大きなテーマに、第1回は「青少年・児童を守る活動」として、地域の安全や健全育成に携わる警察・行政・自治会活動実践者の各方面から講師を招き、地域の非行や不良行為の状況、インターネットを媒体としたトラブルが増えている事への注意喚起、町内で取り組むお祭り等の大きなイベントにおける巡回指導、ポニーの家といった地域が連携した見守り対策、そして、小学生の登下校を中心として街頭に立つ自治会の防犯活動の実践などについて、お話しをいただきました。

第2回は「悪質商法から身を守る」として、悪質商法や詐欺の実態、金融機関と連携した被害を抑えようとする動きや、個々に出来る防犯対策について学びました。

今年に入って町内でも悪質商法による被害が発生している状況で、「一人で判断しないで周りに相談する」「タスキミングを逃さず警察へ通報する」などといったポイントなどが解説され、

講義の最後には「自治会に持ち帰って説明するために資料を貸し出してもらえるのか」といった問い合わせが寄せられるなど、地域のつながりが実感できる研修会となりました。

